

# 磐城時報

日二廿  
印刷所 磐城時報社  
發行所 磐城時報社  
電話 一四一五  
郵政掛號 第三三三六號  
印刷部 印刷部  
電話 一四一五  
電話 一四一五

日本産三手特約 三三八三六番  
郵政掛號 第三三三六號  
電話 一四一五

お惣菜用さつま揚・吉原揚  
平町一丁目  
電話 一四一五

## 南町裏の道路化

### けふ好間の諒解を求む 愈々近く着工

平町に於て本町南裏なる愛宕が、従来好間江の末流を谷江筋組合の管理に属するが、縁故もあつたので本二溝渠を鐵筋コンクリートで十二日午後一時愛宕江筋が包む道路化の計畫あるは既に管理者である阿部夏井村報の如く、右に對して好間長並に常設委員の青木清太江筋組合から横槍が出たが、好間江から金成好間愛宕江側の蒐集せる古文書村長等平町役場に於て立會によつて管理關係の處在がの上右工事に就ての諒解を愛宕江組合にあることを求めた。

## 平窪村議が 平町と合併交渉

### 調査報告を承認

平窪村では二十一日村會を圓に達し四期に分けて醸造開き平町との合併調査内容家から納入される。

第一期一四萬二千六百五  
第二期一四萬二千六百四  
第三期以降二期と同額で  
三期(二月廿八日)第四期  
(三月廿一日)

## 石城酒造税 五十五萬圓

の税金は既に第二期分を終  
えて各醸造家は仕込米の購  
平稅務署管下石城一圓の清入資金から二期、三期と矢  
酒造石高は一萬四千七百石繼早に重なる納稅出費に追  
で本年の仕込み高も所記にはれる譯だが、明年度から  
大差なく此の稅額五十五萬圓稅制改正案が實施されれば

お惣菜用さつま揚・吉原揚  
平町一丁目  
電話 一四一五

## 平刑務所で 修養力行週間

### 昭和人絹で 講演會

平刑務支所では今年末に際(六)は去る五月中入山炭  
して過去を清算し新春の臨臨時夫佐藤馬吉から銅線入  
進に備へるため收容者二十一貫二百匁を買受け、又同  
三名、職員十二名全員一致町榮田伏見馬吉(七〇)も銅  
して左の週養力行週間を實踐し、何れも報簿  
施し緊要一番心身の清掃修に記載を怠り古物商違反に  
養、自治協同の實踐別行に問はれた。

## 標語入選

### 松本訓導

「倒せ結核、伸せよ日本」  
「倒せ結核、伸せよ日本」  
「倒せ結核、伸せよ日本」  
「倒せ結核、伸せよ日本」  
「倒せ結核、伸せよ日本」

## 古物商違反

湯本込み店先にあつた菓子その意中同夜十一時頃突然起き  
バケツを擲つた怪漢が忍び月前から藤を患ひ家人が注  
町三國古物商齋藤太郎(他)を捕縛つて逃走、調べた出して魚網ひに行く

石城郡内郷村宮大字竹ノ内  
石碑彫刻 吉田石材店  
彫刻師 玉峰 吉田 孝一

## 八百圓で纏る

### 錦村も交渉開始

勿來町附近水田四十町歩はバケツを持ち出して前記  
錦村昭和人絹工場から排出の始末を演じたものと判明  
たもの比し約二割の増収にもならず被害を  
加を見込まれてゐるので蒙つたので過般交渉を進  
め二十一日午後一時から  
地主赤津庄兵衛、青天  
目信次郎、(小作人側)齊  
藤信義外二名、櫛田町農  
會副會長、同荒井技術員  
主任に榮轉来る二十七日赴  
任する、尚ほ後任として縣  
特高課勤務警部補三林彌生  
氏が近く着任する。

## 福島に榮轉

### 長澤警部補

二十一日發令された警察官  
異動により平署特高主任長  
澤代瀬警部補は福島署特高  
主任に榮轉来る二十七日赴  
任する、尚ほ後任として縣  
特高課勤務警部補三林彌生  
氏が近く着任する。

## 獵友會總會

會平支部では二十日前九  
時から箕輪村成澤鑛泉に總  
會を開き  
從來十名の幹事を増員増名、議長の開會に依り過般  
山謙氏外三十五名を選任  
分會六ヶ所新設を申し合  
せ

エツキス光線  
産婦人科  
安齋醫院  
電話 四七五

## 町長問題

### 勿來町

是職により後任を物色し  
てゐるが、現在呼び聲ある  
は大平藤四郎、赤津修一、  
現縣議の小松章氏等何れ  
も其の器に不足なしとされ  
居るも一部には現助役横山  
大一の昇格を唱ふるもの  
など右に對して目下のこ  
る勢力に優劣を見るほどの  
競争があるでなく小松章氏  
が縣會からの歸町を待つて  
本格の許衛に入るもの、如  
く、而して後任に屈指され  
小松氏は町長の椅子に大  
なる希望なく適任の推薦に  
努力される模様であるから  
結局は前記三氏の何れかに  
決するであらうと見られ、  
各人に固辭された場合は或  
自ら椅子を承くるに至るか  
も知れないが決定は明年に  
持越されるであらうと語ら  
れてゐる。

## 内郷村から

### 水道施設

内郷村では此程村會を召集  
したが出席十五名、職員十  
死亡せる大越、他縣轉出の  
任して休職に移り、三  
委員會を開いて協議せる  
水池設置案件に付きの件を  
受理承認を求めて直に協議  
會に移り議長から十七日現  
在に至る傳染病患者續發に  
伴ひ淨水池設置は現下の急  
務なるを説き會社側として  
も是れが淨水池は是非共實  
現したいとの機運濃厚なる  
は明らかであり、此際村當  
局として是れが實現促進の  
對策として約九萬八千圓の時

## 選擧人名

出來上りま  
ホケツト用體裁  
電話 四〇九番  
御申込下さい

**本** 歳暮引景加付大賣出し

お買上 二 毎に二 等

以下六等迄實用景品進呈

一等 貳拾圓(商品券又ハ)

二等 拾圓(商品券又ハ)

三等 五圓(商品券又ハ)

四等 三圓(商品券又ハ)

五等 二圓(商品券又ハ)

六等 一圓(商品券又ハ)

新製機  
タモ火鉢  
対新製機

机九脚引付 一、五〇〇  
椅子事務用 一、五〇〇  
腰掛商店用 一、五〇〇  
食卓尺五寸 一、五〇〇  
會席膳五人前 一、五〇〇  
會席膳五人前 一、五〇〇  
會席膳五人前 一、五〇〇  
會席膳五人前 一、五〇〇  
會席膳五人前 一、五〇〇  
會席膳五人前 一、五〇〇  
會席膳五人前 一、五〇〇  
會席膳五人前 一、五〇〇  
會席膳五人前 一、五〇〇

十二月 三十一日

お正用品 各種陳列

白木三寶 名刺受、四、三〇〇  
白木三寶 名刺受、四、三〇〇  
白木三寶 名刺受、四、三〇〇  
白木三寶 名刺受、四、三〇〇  
白木三寶 名刺受、四、三〇〇  
白木三寶 名刺受、四、三〇〇  
白木三寶 名刺受、四、三〇〇  
白木三寶 名刺受、四、三〇〇  
白木三寶 名刺受、四、三〇〇  
白木三寶 名刺受、四、三〇〇

**不藤市**

七五三御祝答禮品は  
せひ 藤市へ

紅白蒲鉾箱、六十錢ヨリ  
七品盛口取、六十錢ヨリ  
其他色々ご御座います  
御用命を御願致します

電話三〇五番

**魚召すおちら**

ヒマシマシ凍魚

鯛 マナ鱈 ワカサギ  
エビ 甘鯛 帆立貝  
白魚 カナ頭 うし貝焼

日本水産手約社(電話三三三三六番)  
卸小賣 平製氷會社  
代理店 小印魚問屋  
四丁目五二八番

◎新鮮な冷凍貝焼ありませす

**夕刊警城時報**

日三廿

印刷所 警城時報社  
発行所 警城時報社  
一部金貳圓 一月金廿圓  
廣告料 一行十二字貳圓  
日刊 日曜 休刊

**器漆と具家**

**丸ほん**

九五三電目丁三町平

當擔醫門專科各

**院病濟共**

久喜部谷長 士博學醫 長 院

番一四六話電・町平

干やなぎの御注文は  
いか切込

**仙魚店**

是非

美味・体裁優美は  
當店のモットーです  
鯉節・握辛  
鮮魚仕出し

丸仙

電話六六二番

**折詰屋**

お惣菜用さつま揚・吉原揚

平町一丁目

**不道寛**

電話一四一四番

**潰地補償金**

猪狩議員が

なつたので今後二十年間の  
賃金を計算し訴訟を起した  
ものである。

**祝七五三**

お書き遊ばせ  
お子様方の  
可愛いお姿を  
御写真に

當日は御祝として焼増  
一枚御進呈致します。

平町寫真師會

組合員名(イロハ順)  
戸田 寫真館  
岡田 寫真館  
大野 寫真館  
太田 寫真館  
中島 寫真館  
青木 寫真館  
アサヒ 寫真館  
齋藤 寫真館  
サクラ 寫真館  
三光 寫真館

夜間

**腸胃** 科  
花柳病科  
性病科  
泌尿器病科  
皮膚病科  
肛門病科

門專  
院醫科性胃村松

(番七〇一電) 町南町平

平町田町 (電話五二三番)

**高久病院**

醫學士 高久 忠  
新潟醫學士 赤羽 清  
藥劑士 佐竹 菊雄

石城郡内郷村宮大字竹ノ内

石塚彫刻 專門  
**吉田石材店**

彫刻師 玉峰 吉田 孝一

坑夫長屋二棟  
**岩石に押し潰さる**

二十一日午前九時半頃内郷やぐらに、更に床板を折  
り村字堀坂内明神山の断面つたが家人は不在のため幸  
から幅五尺、厚さ四尺の岩ひ死傷者なかつた、原因  
石数個が落下し約二十尺下は前日の雨で岩壁に弛みを

優秀なる専門技術  
完備せる試験設備

**モーター修理工場新設**

平町月見町  
會社 佐藤鐵工所  
電話 三六二番

理髮 東京

親切は「理髮・東京」の出発点  
誠實は「理髮・東京」の生命線

平町三丁目警察署通り

産婦人科 院 長 木村寅次郎  
婦人科 醫學博士 内木宗八  
外科 藥劑師 大岩俊雄

平町新川町十九

**木村病院**

入院隨意 病室完備

電話一六四番

内臓外科 院 長 安齋徹  
エツキス光線

産婦人科 醫學士 黒澤 廣

平町田町

**安齋醫院**

入院隨意

電話四七五

鮫川橋の  
**架替え有望**

二十一日郡下を初巡視  
して歸仙した、四倉町とし  
ても早く第二期工事をせね  
ば他港より遅を取るもので  
ある。

▲賭博博検挙 双葉